



田中陽介 (37)

たなかようすけ

市議会議員を

4年間務め

野洲はもっと

いい街にできると

確信しました。



www.tanakayousuke.net

田中陽介プロフィール

1984年4月3日生まれ 37歳
野洲市木部出身「清七」
185cm 85kg
バスケット歴27年(休憩中)

経歴

- 中主中学校
- 守山高校
- 龍谷大学経営学部

今受け持っている役割

- ◎野洲市議会議員 副議長
- ◎株式会社アンシェルブ 代表取締役
- ◎グリーンコープしがまる生活協同組合 監事
- ◎一般社団法人フードバンクびわ湖 監事
- ◎一般社団法人野洲青年会議所 副理事長
- ◎野洲市農業者クラブ
- ◎野洲市商工会青年部
- ◎おいで野洲まるかじり協議会
- ◎ファンキーファームタナカ 代表
- ◎満月マルシェ 主催メンバー

4年間の市議会議員としての活動を経て、今、2期目を目指す想いは、「議会はもっと良くなる」です。議員になった初年度から議会運営委員長という大役を受け、議会とは何なのか、議員とは何なのかについて考える機会を得ました。自分の想いや主義主張と、民主主義の制度との葛藤。何が正しいのか、どの道が正解なのかを考え続けた日々でした。そして辿り着いた結論は、「正解なんてない」です。

まちを良くしていく方法は様々です。議員はその様々なアイデアの中から決めることが仕事であり、賛否が分かれる中、話し合いをしながら決めていく。それはすでに答えが決まっている予定調和であっていいはずがありません。本来は、Aでもない、Bでもない、もっといいCを見つけてみんなで取り組んでいくための対話であるべきです。その土台を僕は議会でつくっていきたいと思います。

市と市議会、議会と市民、市民と市、まちには色々な関係性があります。その中で、それぞれの人が気持ちよく役割を果たせたら、きっと今よりもっといいまちになっているはず。そのためには「議会をもっと良くなる」必ず

要があります。先進議会の取り組みを聞き、議会改革の研修に参加するなかで、野洲市議会を見てみると、伸び代しありません。市議会のメンバーの意識ひとつでまちは大きく変わります。決めるだけの議会から、現場で動く議会、働く議会、市民とつながる議会になっていくことで本来の役割を果たせると僕は考えます。

『地域の代弁者』としての昔ながらの議員像から、もう一歩先へ。まちの未来を議論して、市民と共にまちを創造していく存在へ。子どもたちのやりたい仕事に出てくるへびく、議員の、議会の価値とやりがい求めていきたいと考えています。

「陽介君が議員になって発信してくれて野洲のことを知ることができた。」そう言ってもらえることがあります。さらに、僕より若い世代も少しずつ、政治や自治、自分たちでのまちづくりに取り組んでくれるようにもなりました。でも、まだまだです。暮らして政治はつながっている。みんなと行政の間にある身近な存在として、そして自分も一人の野洲市民として、まちづくりの輪を広げたいと思います。